

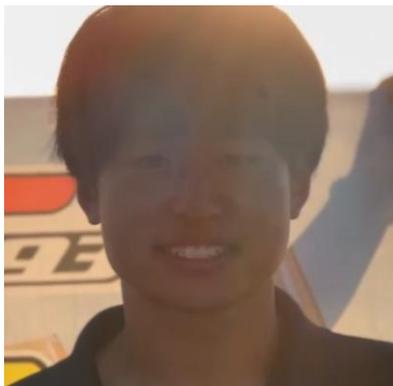
2025年テクノ 293 ジャパンカップ（世界選手権等派遣支援選抜）大会報告

2025.9.6-7 神奈川県逗子海岸 参加選手 141名



総合優勝 小山田 柁平

## レースレポート 景山拓真・京都大学 12-1 (総合 2 位、2026 年世界選選手権出場予定)



逗子海岸は大きく湾の形になっており、湾から沖に出るに連れて風がどう変化するかを把握する必要がありました。スタートラインは下有利で、左から風が入っており、沖に出ると右からも風が入ってきていたので、どちらの風を使うかで戦い方が異なりました。自分の実力と、得意・不得意を考慮して最適なコース取りを組めるかが重要でした。また、潮の影響でスタートのときにラインが落ちやすいときと、落ちにくいときがあり、正しくライン把握を行ってジャストタイミングでスタートラインを切ることが大切でした。

6本中半分以上が、ハーネスストラップができる風力でのレースで、周りの艇よりも上り角度を出せるかが順位に大きく影響しました。大きなうねりも多かったので適切に対処できていた艇が早かったと思います。一方、1日目にあった中風域でのレースでは単発ブローでどれだけストパンでゲインを取れるかが重要でした。2日間を通して、抱える弱点が少ないほど順位が安定したと思います。

## 総合優勝 小山田柁平・湘南工科大付属高 116 コメント



自分の得意なストパンとストラップハーネスで、即タックやポートスタートで頭を出して下りで全部捲ると言う自分のスタイルが全レースで成功してテクノで全ピンを取ることができ、総合優勝をすることができた。最初のスタボーが上るけれど、詰まりやすく頭が出しづらいので即タックを乱用したのが上手くいった理由だと思います。来月には全日があり残りの1ヶ月間で更に仕上げて大会に挑み、優勝して2連覇を達成させます。

女子総合優勝（ウインドサーファークラス） 豊岡美枝・mimiwind33 コメント



前日の台風の影響でウネリが残るなか、晴天の下でレースができ、女子総合優勝できたことを嬉しく思います。初日は得意の微中風で、男子の総合1位とタイポイントとなり、2日目は中強風を耐え男女総合6位と、幅広いコンディションでレースを楽しめました。運営の方々、選手たちに感謝します。私はかつて世界チャンピオンとして戦い、現在は早稲田大学のコーチをしています。インカレや全日本はもちろんですが、世界大会での経験は、これからの人生の大きな財産になることと思います。

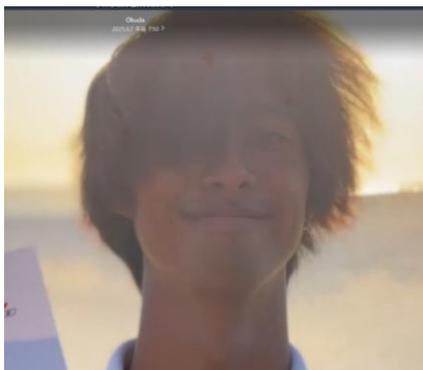
今回権利を得た選手たちには、ぜひ世界にチャレンジしてほしいです！

女子テクノクラス総合優勝 林つぐみ・明治大学 46-3 コメント



去年に引き続きテクノクラス女子で優勝することができて嬉しく思います。大会一日目では総合4位につくことができ、練習の成果が着実に表れていることを実感できました。しかし、ミスも多く落ち着いたレースができなかった場面もありました。課題を克服できるよう、練習に励みたいと思います。また、今年の世界選手権での経験を活かし、来年の世界選手権に向けてしっかり準備をしていこうと思います。応援してくださった方々に感謝申し上げます。

## 1年生クラス男子総合優勝 川内稜翔・中央大学 96-02 コメント



今大会は、私にとって初めての上り下りのレースでしたが、夏休みの練習の成果を存分に発揮することができたように思います。スタート時には先輩方のパンピングに圧倒されたり、セールを落としてしまわないように手足が震えたりする場面もありましたが、全5レースを楽しく消化することができました。これからも練習や大会を通して、ウィンドサーフィンの楽しさをたくさん味わいたいと思います！最後に、大会運営をしてくださった関係者のみなさま、イントラをしてくださった先輩方に心より感謝申し上げます。

## 1年生クラス女子総合優勝 壱岐朋子・同志社大学 35-28 コメント



大会スタッフの皆様、ありがとうございました。優勝することができ、非常に嬉しいです。今大会は、両日共にうねりと風に翻弄され、普段の練習の成果を発揮できたとは言い難かったです。そのため、多様な海面で練習を重ね、対応力を磨く必要があったと感じました。優勝という賞を頂きましたが、自身の実力不足を痛感する大会となったため、今回の学びを活かして今後の練習に邁進してまいりたいと思います。

## 2025年度テクノ 293 ジャパンカップ（日本代表候補 33 名入賞者一覧）

ゴールドクラス（世界選手権派遣支援選手）18名

シルバークラス（世界選手権派遣支援強化選手）15名

### 【総合男子】10名

※8位の岩崎雄太がテクノプラスクラス、10位の三浦晃晴が2年生クラスの枠で表彰対象となるため繰り上げが生じる（以下すべて支援金の額が多い方で顕彰）。

#### ゴールドクラス（1位）

116 小山田 柁平 〈sevenses/（湘南工科大学附属高校）

#### ゴールドクラス（2位）

12-1 景山 拓真 〈京都大学〉

#### ゴールドクラス（3位）

46-51 大島 拓己 〈明治大学〉

#### シルバークラス（4位）

15-8 加藤 秀都 〈慶應義塾大学〉

#### シルバークラス（5位）

15-11 橋本 龍人 〈慶應義塾大学〉

#### シルバークラス（6位）

53-7 鈴木 颯乃介 〈早稲田大学〉

#### シルバークラス（7位）

53-5 毛利 大基 〈早稲田大学〉

#### シルバークラス（8位）

15-7 矢野 健人 〈慶應義塾大学〉

#### シルバークラス（9位）

12-25 星野 聖和 〈京都大学〉

#### シルバークラス（10位）

46-5 松永 佑真 〈明治大学〉

### 【総合女子】6名

※1位の豊岡美枝がウィンドサーファークラス女子の枠で表彰対象となるため、繰り上げが生じる。

#### ゴールドクラス (1位)

46-3 林 つぐみ 〈明治大学〉

#### ゴールドクラス (2位)

22-1 廣瀬 ころろ 〈玉川大学〉

#### ゴールドクラス (3位)

53-4 泉 結衣 〈早稲田大学〉

#### シルバークラス (4位)

12-20 福本 奈緒 〈京都大学〉

#### シルバークラス (5位)

12-34 関谷 紀胡 〈京都大学〉

#### シルバークラス (6位)

20-6 大久保 希海 〈上智大学〉

### 【テクノプラスクラス】1名

#### ゴールドクラス (1位)

JPN170 岩崎 雄太 〈セブンシーズ〉

### 【社会人クラス】1名

#### ゴールドクラス (1位)

90-7 高津 一晃 〈東京建物株式会社〉

### 【ウィンドサーファークラス男子】1名

#### ゴールドクラス (1位)

17 長島 一由 〈早稲田大学 OB〉

### 【ウィンドサーファークラス女子】1名

#### ゴールドクラス (1位)

33 豊岡 美枝 〈mimiwind〉

## 【2年生クラス男子】3名

※1位の大島拓己が総合男子の枠で表彰対象となるため繰り上げが生じる

### ゴールドクラス (1位)

53-23 三浦 晃晴 〈早稲田大学〉

### ゴールドクラス (2位)

19-64 守永 裕生 〈滋賀大学〉

### ゴールドクラス (3位)

53-39 村岡 零 〈早稲田大学〉

## 【2年生クラス女子】3名

※1位の林つぐみが総合女子の枠で表彰対象となるため繰り上げが生じる

### ゴールドクラス (1位)

53-9 高山 琴 〈早稲田大学〉

### ゴールドクラス (2位)

15-3 記野 愛子 〈慶應義塾大学〉

### シルバークラス (3位)

53-36 山下 真央 〈早稲田大学〉

## 【1年生クラス男子】6名

### ゴールドクラス (1位)

96-02 川内 稜翔 〈中央大学〉

### ゴールドクラス (2位)

15-99 坂本 拓洋 〈慶應義塾大学〉

### シルバークラス (3位)

46-25 中谷 和哉 〈明治大学〉

### シルバークラス (4位)

49-25 荒川 憲信 〈横浜市立大学〉

シルバークラス (5位)

46-8 田中 嘉宜 〈明治大学〉

シルバークラス (6位)

15-24 中多 健介 〈慶應義塾大学〉

**【1年生クラス女子】2名**

ゴールドクラス (1位)

35-28 峯岐 朋子 〈同志社大学〉

シルバークラス (2位)

51-30 金光 紗和 〈立命館大学〉

以上 33 名の選手には、テクノ 293 ジャパンカップ実行委員会より派遣支援選手又は支援強化選手の認定証が交付されたほか、全選手に派遣支援金が支給された。

なお、準優勝の景山拓真選手にはタヘアウトドアスポーツの内海隆様（テクノ委員会委員長）より金 10 万円の支援金目録が手渡された。また、本大会の規定に基づき収益から合計 475000 円が選手の海外派遣支援費に、同等の金額を鎌倉児童ホームの支援などを行う NPO 法人 KANATAN に寄付された。

次回、2026 年テクノクラス世界選手権はトルコ・イズミルで 2026 年 3 月 28 日 - 4 月 4 日まで開催される予定です。なお、欧州選手権についてはまだ時期、開催地ともに不明ですが、両大会を筆頭にテクノクラス実行委員会としては、日本代表選手の派遣支援を引き続き行ってまいります。

文責：テクノ 293 ジャパンカップ実行委員会  
ゼネラル・プロデューサー 長島一由

テクノ 293 ジャパンカップ実行委員会

大会会長：宮崎景 大会名誉会長：眞壁克昌 テクノ委員会委員長：内海隆

大会実行委員長：長島かれん

レースオフィサー：小池哲史

大会陸上本部長：石川うらら

撮影：奥田順一、鎌田雪枝

大会事務局：岩田翔真、仁田原歌穂、長島有里